



平成22年12月6日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第二部)
問合せ先 企 画 部 長 森脇 喜生
(TEL. 03-5792-8601)

医療関連施設向け症例データベース管理ツール 「SDS クラウドラック」の販売開始

記

当社は、平成22年12月より医療関連施設向け症例データベース管理ツール「SDS クラウドラック」の販売を開始いたしますので、添付の通り、お知らせいたします。

「SDS クラウドラック」は東海大学医学部基礎診療学系画像診断学 今井 裕 教授にご協力頂き開発された、業界初の多施設共同構築を可能とした症例データベース管理ツールです。病院をはじめ、医療関連施設では治療方針を決定するうえで、複数分野の専門医、専門スタッフによる検討会が開かれます。しかし、検討会で利用される資料のほとんどがフィルムや印刷物で実施されているのが実状です。また、同様の症例等と比較し検討を行うにもフィルムや印刷物は検索性が低く、利便性が高いとは言えませんのでした。

SDS クラウドラックは医用画像をはじめとする臨床データを電子化して蓄積することができます。これにより、病院内での複数分野の専門医や専門スタッフによる検討、同一症例との比較、加えて、その病院外の医療関連施設からの参照を可能とし、画像診断の精度を上げることにつながります。個人情報の機密性を考慮し、病院内や外部の医療関連施設で専門医同士の知識、症例情報の共有を行うことができます。

以上

平成 22 年 12 月 6 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社、臨床症例データベースの 構築、運用をサポートするシステムを開発

テクマトリックス株式会社（社長 由利 孝：東京都港区高輪 4-10-8 TEL: 03-5792-8600）は、東海大学医学部基礎診療学系画像診断学 今井 裕 教授（神奈川県伊勢原市下糟 143 伊勢原キャンパス）の協力を得て臨床や研究、教育支援を目的とした症例画像データベース管理ツール「SDS クラウドラック（仮称）」を開発。本年 12 月より販売を開始いたします。

「SDS クラウドラック」は業界で、はじめての多施設共同構築を可能とした症例画像データベース管理ツールです。臨床に関する、あらゆるデータを管理、容易に閲覧することができます。同社が開発した SDS シリーズ製品の医用画像ビューワ「SDS Viewer」、レポートシステム「SDS Report」と組み合わせることで、臨床画像データや所見データを手軽に取り込むこともできます。他の検査部門（内視鏡、病理など）の臨床画像データを統合的に扱い、病院内や外部の多施設での専門医同士の知識、症例情報の共有を促進します。

病院をはじめ、医療関連施設では複数分野での専門医、専門スタッフによる検討会（カンファレンス）が開かれ、手術・治療などの方針検討を実施しています。現在でも検討会で提出される資料のほとんどはフィルムや印刷物が主体であり、資料は書棚に保管され必要に応じて手作業で閲覧するしかなく、検索性は低いものとなっています。「SDS クラウドラック」は容易な検索で欲しい情報をすばやく提供することが可能であり、かつ、長期的な知識ベースとして活用することが可能になります。

症例画像データベース管理ツール「SDS クラウドラック」の特長は以下の通りです。

-簡単に登録できる-

臨床画像データや所見データの登録、閲覧が簡単におこなえます。閲覧状態を同時に保持して、画面レイアウトや、過去画像との対比、アノテーション情報を再現しながら表示することも可能です。画像、レポート以外にも、重要な症例に関連するファイル（学会資料や研究用症例、病理組織画像、音声、動画など）の登録も可能です。

-情報を的確に整理して、欲しい情報をすばやく表示-

疾患名、検査項目、部位、タイトルやファイルなどをグルーピングするために、任意のキーワードを登録できます。容易な検索で類似症例など関連性のあるデータがすぐに見つかります。表示方法も一覧、アイコン、サムネイルから選択でき、視認性を高めました。データベースに登録されている文書データについては全文検索も可能です。

-情報の機密性や安全性を考慮-

個人情報の匿名化が可能です。また、データ個別の公開範囲の制御、ユーザごとのアクセス権限制御が可能です。臨床画像データの外部出力機能をもっているため、学術研究活にも利用できます。医療機関側での運用規定等が整備されれば、データベースシステム自体を商用のデータセンターに設置したり、院外に設置されたシステムを複数の医療機関から共有することも可能です。

当該製品が医療現場にもたらす意味、期待として、東海大学の今井教授は以下のように語っています。「SDS クラウドラックは、PACSの画像データを日常の診療業務の支援のみならず、若い医師の教育のためのティーチングファイル、膨大な画像データを用いた大きな規模での研究手段、さらに学術発表や論文作成のためのツールとしても活用でき、多くの機能を有する将来性の高いシステムです。」

症例画像データベース管理ツール「SDS クラウドラック」は 3TB の容量を確保したハードウェアが含まれ、基本構成で 1200 万円から販売を予定しています。初年度は 10 ユーザへの導入を目標としています。お問い合わせは下記までお願いいたします。

問い合わせ先:

テクマトリックス株式会社 医療システム事業部

TEL: 03-5792-8610(代表) FAX: 03-5792-8710

E-mail: medical-sales@techmatrix.co.jp

URL: <http://www.techmatrix.co.jp>